

東北ダンプ



【発行】全日本建設交運一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部準備会
建交労秋田ダンプ支部内

2022年6月25日発行 NO.1 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
Tel018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

東北6県のダンプ支部を一つの支部に組織統合する準備をすすめています。今年の10月22日(土)に予定している東北ダンプ支部結成にむけて、準備会として機関紙を毎月発行することになりました。



第1回東北ブロック幹部会議を開催

4月9日、福島県飯坂温泉で「第1回東北幹部会議」(上の写真)を開きました。現場の代表も含めて、青森1人、秋田3人、岩手3人、山形1人、福島5人の計13人が参加しました。この会議の目的は、10月の組織統合に向けて、現場代表の意見も反映させる事です。(記事の中では、東北6県をまとめて広域支部と呼びます)

会議では①各支部の組織と財政の現状 ②広域支部はどんな活動をするのか ③広域支部の執行体制と各地域の日常活動 ④広域支部の財政確立と支出に関わる問題等について、報告と討論が行われました。

いくつかの組織がひとつになる時、誰もが得をする「ウィンウィン」の関係が理想的ですが、東北ブロックの場合は簡単ではありません。損得勘定を抜きにして、運動をリードしているダンプ支部が、倍ぐらいの苦勞を覚悟する、財政的にも余裕のある支部が大きな負担をすることが必要です。お金のことを抜きにした団結は見せかけの団結ですから。

討論では様々な意見が出ましたが、「高い単価で働く」ことを目的とした広域支部結成に向け、意思統一ができたと思います。

第2回幹部会議を8月20日に開催して、10月の広域支部結成に向かう予定です。組織統合に向けた疑問や意見は、遠慮なく各支部の専従者に寄せてください。



いよいよひとつの支部に ～10月22日の組織統合大会に向けて

東北6県すべてに、全国ダンプ部会につながっている組織があります。ただ、同じ建交労の組合と言っても、組織と活動の中味には相当の違いがあります。活動が進んでいる組織では、ダンプ常用単価51,000円(税込56,100円)が当たり前になっていますが、活動の弱い支部では36,000円ほどしか貰えません。

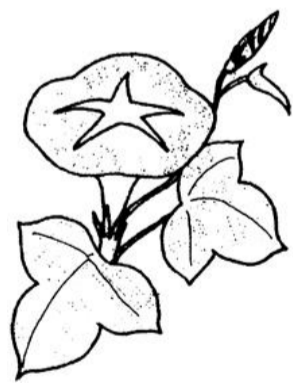
昔から「子どもは親を選べない」のことがありますが、同じ建交労なのに、所属する支部が違うと稼ぎが大きく違う現実を改善していく必要があります。どこの県に住んでいようと、常用単価は51,000円が当たり前にする必要があります。

東北ブロックでは、これまで3年のあいだ、組織統合に向けた話し合いを続けてきました。統合するには、様々な解決すべき課題があります。組合費の統一、組合活動の均整化、特に停滞している地域を急速に活性化させる事などです。

組合費をひと月500円～1,000円ほど値上げする支部も出て来ますが、1日の単価を15,000円上げれば、十分に元は取れます。福島ダンプを例にとると、51,000円の現場で毎月50人ほどが交代で就労しています。

今年の3月以降に発注された工事については、52,000円(税込57,200円)を元請会社に要求しています。既に大手のM建設工業、県内のK土木が「まあ、その程度は仕方ないでしょう」と合意しています。国交省の基準では「10tダンプ1日の単価は75,000円(税抜)」ですから、52,000円はまだまだ安い単価です。

同じ燃料を焚(た)いて、同じ仕事をしているのですから、東北のどこに住んでいても「同じ単価がもらえる」組織を作りましょう。あきらめが先立つ活動ではなく、展望の持てる、笑い声も出るような活動を展開しましょう。



7月19日から東北ダンプキャラバン行動(ウラ面に各県の予定をのせています)に取り組みます。執行部から呼びかけのあった仲間は、ぜひ休暇を取って参加して下さい。東北がひとつとなった活動は、そこから始まります。

東北のどこでも5万円以上で働ける組織を作りましょう。誰がやらなくとも自分はやるとの犠牲的精神を持つ、自覚のある組合員は活動の先頭に立ちましょう。

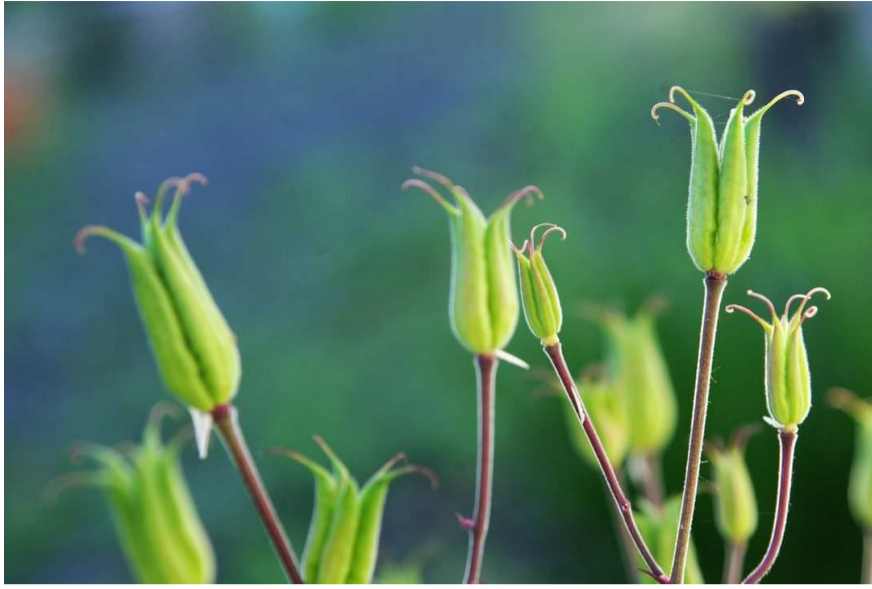
晴釣雨読(せいちょううどく)

近年は温暖化が進み、降雪も減少した雪の回廊。八甲田・十和田ゴールドライン(上の写真)が4月1日に開通した。笠松峠越えの途中に豪雪地帯にたずむレトロで秘湯な混浴風呂を話題にする酸ヶ湯温泉がある。160畳の千人風呂が湯治客や旅人の疲れを癒す。

▼酸ヶ湯伝説の人「鹿内仙人」の愛称で親しまれた八甲田山岳案内人、本名、辰五郎氏は明治から昭和にかけ遭難救助などの幾多の功績を残した。仙人は山を守り、人の命を守り続けた人物と言われている。▼酸ヶ湯南東の溪谷を横断し横岳山頂方面へ登ると、まるで別世界、広大な高山植物が群生するお花畑があり、尾根から南北八甲田が展望出来る。お花畑を後にして尾根を下って行くと、幻想的な景色に遭遇、八甲田の伏流水が滝となり注ぐ神秘的な横沼に出会う。▼山中奥深い沼に生息し得ない魚が生息している。原生林に囲まれて、川からの遡上不可能な地形、太古からイワナが生息していたとは思えない地形と断定する。▼老練の釣り師を訪ねて幾年も耳を傾け沼の歴史を訪ねる。幽かに、何か謎めいた事実が紐解けた。▼仙人の偉業と判断。想像を絶する過酷で未知の八甲田へ挑む、計り知れなく壮大な夢を描き実現した謎の一つであろう。▼国内でも有名な岩名釣り師で生態研究家の公開所説によるとイワナを2種7属と分類している。▼横沼に2属のイワナが生息している事から渓流クラブの仲間での判断は放流以外にはありえないと断定する。「鹿内仙人」が後世に残したかったロマンであろう。

高橋 溪峰(angler name)

()



7 10
6

ウクライナ危機便乗♪



()

()

全国ダンプキャラバン東北(予定)

7 19 ()

09:00 10:00

10:30 11:30 ()

11:30 12:00

()

13:10 14:00

14:00 14:10

16:00 17:00

7 20 ()

09:00 10:00

10:10 10:30

11:00 12:00

()

14:00 15:00 ()

15:10

7 21 ()

09:30 10:30

11:30 12:00

()

13:30 13:45

14:00 14:30

14:40

7 22 ()

09:30 10:30

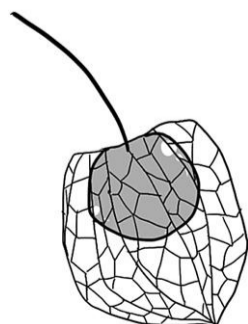
()

13:00 14:00

15:30 16:30

16:40

選挙に行こう！



K 1 100 0
K

)

(

K